

移動等円滑化取組計画書

2022年6月13日

住 所 千葉県印西市船尾 1377

事業者名 ちばレインボーバス株式会社

代表者名（役職名及び氏名） 代表取締役社長 檜山 雅紀

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の4の規定に基づき、次のとおり提出します。

I 現状の課題及び中期的な対応方針

旅客設備及び車両等の整備に関する事項、当社が保有する乗合バス車両においては、2021年度末時点のノンステップバス導入率は67%にとどまっている。こうした現状を踏まえ、車両の更新と併せてノンステップバスの導入を推進し、2022年度までにノンステップバス導入率を74%まで向上させる。

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
車両	・ノンステップバスを4台導入する。(2022年度)

② 旅客施設及び車両等を使用した役務の提供の方法に関し法第八条第二項及び第三項の主務省令で定める基準を遵守するために必要な措置

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
定期点検	導入した移動円滑化車両について、引き続き同等の機能を維持する為、定期的な点検等、必要な措置を講ずる。

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降につい

での介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
お客様用外マイク	・高齢者にもわかりやすいようにお客様用外マイク設置場所に文字だけではなく、絵の付いた外マイク案内表示の設置を進めていく。

④ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
行先表示器	・車内行先表示器のフルカラー化を進め見やすくする。 2021 年度末時点のフルカラー表示器装着率は 34%にとどまっている。こうした現状を踏まえ車両の更新と併せて装着率を向上すべく努めて行く。

⑤ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
乗務員の技術向上	・新人乗務員を対象とした高齢者、障害者等の乗降支援に関する教育を実施する。(通年)

⑥ 高齢者、障害者等が高齢者障害者等用施設等を円滑に利用するために必要となる適正な配慮についての旅客施設及び車両等の利用者に対する広報活動及び啓発活動

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
旅客への啓蒙活動	優先席の譲り合い等について、ポスター、シールによる旅客への啓蒙活動の実施

Ⅲ 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

定期販売業務に関する業務委託契約先と定期連絡を実施し、窓口に寄せられたお客の声を反映する体制づくりを行う。

#### IV 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設及び車両等又は対策	変更内容	理由
ノンステップバス	導入台数を変更する。	新型コロナウイルス感染症の影響で財政難の為。

#### V 計画書の公表方法

当社公式ホームページに掲載予定。

#### VI その他計画に関連する事項

・今後の新型コロナウイルス感染症影響の動向により、計画通り進まないことも考えられますのでご了承ください。

注1 IVには、IIについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Vには、本計画書の公表方法（インターネットの利用等）について記入すること。

3 VIには、IIの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。